山形県　戸沢村

豊かな自然に四季のかおりと舟唄のこだまする村をつくろう

とざわむら議会だより

2022 No.145

2022年9月定例会

2p 9月定例会　令和3年度 歳出総額60億2517万円を認定

3p 条例改正・規約改正・契約・人事案件　常任委員会報告

4~5p 令和３年度 一般会計決算審査／特別会計決算審査

6~11p 村政を問い正す! 9月定例会での一般質問 5議員登壇

12~13p 議会広報常任委員会／議会日誌／東北農林専門職大学

14p 合格祈願　表紙の言葉　編集後記

令和3年度各種会計
歳出総額60億2517万円を認定

令和4年
9月
定例会

9月定例会は7日から13日までの7日間の会期で行われた。報告事項4件、令和4年度補正予算8件（うち専決処分の承認1件）、令和3年度各会計歳入歳出決算の認定7件、条例関係2件、規約変更1件、契約締結1件、人事案件1件が提案され、全議案を可決した。

一般質問には5議員が登壇し、定年退職年齢引き上げに伴う人事政策、最上地区広域連合の今後の方向性、これまでの一般質問答弁後の現状・改善状況、農地整備計画、避難行動要支援者の支援体制等について、議論が交わされた。

補正予算

令和４年度戸沢村一般会計補正予算（第５号）
補正額２億4240万円　補正後の額　42億8800万円

今回の補正は、令和４年度人事異動に伴う人件費の調整、真柄地区開発行為に伴う道路等の整備、子育て世帯生活支援給付金給付事業、新規就農者の育成事業、農業用施設災害単独復旧補助などに係る費用が計上されました。

◎主な補正内容（歳出）

一般会計

総務費
・庁舎ボイラー等修繕費……793万円
・真柄地区開発行為区域道路排水施設工事費……600万円
・公園整備工事費……2900万円
・ぽんぽ館施設修繕費……500万円
・行政手続きオンライン化対応業務委託料……1027万8千円

農林水産業費
・山形県新規就農者育成総合対策事業費補助金……366万３千円

土木費
・除雪対策委託料……5700万円
・村持家住宅整備促進事業費補助金……700万円

災害復旧費
農地農業用施設災害単独復旧費補助金……500万円

教育費
・工事請負費（戸沢学園防球ネット修繕）……115万5千円
・文化財保護業務委託料（長倉の大杉枯れ枝除去）……130万円

特別会計

◎戸沢村国民健康保険特別会計補正予算（第１号）
補正額122万7千円/補正後の予算額1402万7千円
主な補正内容（歳出）
予備費の増115万6千円

◎戸沢村後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）
補正額23万3千円/補正後の予算額6533万3千円
主な補正内容（歳出）
一般会計繰出金の増23万3千円

◎戸沢村簡易水道事業特別会計補正予算（第１号）
補正額1443万9千円/補正後の額2億3543万9千円
主な補正内容（歳出）
光熱水費・修繕費の増800万円

◎戸沢村公共下水道事業特別会計補正予算（第１号）
補正額210万6千円/補正後の額１億510万6千円
主な補正内容（歳出）
光熱水費・修繕費の増93万6千円

◎戸沢村農業集落排水事業特別会計補正予算（第１号）
補正額1424万9千円/補正後の額1億5724万9千円
主な補正内容（歳出）
工事請負費の増1150万円の増

◎戸沢村介護保険特別会計補正予算（第2号）
補正額3909万4千円/補正後の額7億7944万6千円
主な補正内容（歳出）
返還金の増2138万3千円
予備費の増1254万3千円

条例改正

1　戸沢村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定

人事院規則の一部改正に伴い、条例を整備するため改正が行われました。

取得回数制限、取得要件が緩和されます。また、対象期間が現行産後8週間を経過する日までから、子が1歳に達する日までとなります。

2　戸沢村いじめ防止対策の推進に関する条例の一部を改正する条例の制定

戸沢村いじめ防止対策の推進に向けて、委員の任期を明確にするため改正が行われました。

改正後の委員の任期は2年となり、再任を妨げないことになります。

規約改正

最上広域市町村圏事務組合規約の一部変更

最上広域市町村圏事務組合における圏域の振興整備に係る財源として、最上広域ふるさと市町村圏基金を充てることができるようにするため規約が変更されました。新消防庁舎建設に市町村圏基金が活用できることになります。

契約

公用車購入契約の締結

高額な物件購入契約には、地方自治法96条等の規定により議会の議決が必要になります。コロナ禍の密を回避するため1080万円のバスの購入契約が可決されました。

人事案件

1　戸沢村教育委員会委員の任命に同意

加藤　久和（敬称略）
任期　令和4年10月1日～令和8年9月30日

常任委員会報告

◎総務文教常任委員会

9月12日、総務文教常任委員会を開催し、「消費税インボイス制度の実施延期についての陳情書」を協議しました。インボイスは売手が買手に適用税率、消費税額を伝える手段で、インボイスを交付するには登録が必要になります。税務署等により登録についての説明会が開催され、既に登録している業者もあることから、延期については更なる調査が必要と判断し、継続審査とすることに決定しました。

委員長　伊藤　一

総務文教常任委員会（陳情協議）

◎産業建設常任委員会

近年、他県で盛土が要因となった土砂災害発生があり、残土を危険視する上本郷地区会より村議会に対し陳情書が提出されました。

この土砂は、村内各地で甚大な被害が発生した平成30年、令和2年の豪雨災害による復旧工事による発生土などです。

これを受け、9月12日、全議員、村長、副村長及び担当職員が旧角川中学校跡地に仮置きされた工事残土の状況を確認しました。土砂の水分量も下がり雑草が繁茂し安定しているようにも思われます。

しかし、発生から4年余り手付かずのまま放置されたことは容認できるものではなく、地区住民の安全確保のため、予算措置も含め流出防止対策を早急に講じるよう申し入れを行いました。村は今後対策を行うことにしています。

委員長　岡田　孝一

産業建設常任委員会（現場確認）

産業建設常任委員会（旧角川中学校跡地）

令和3年度 一般会計 決算審査

委 員 長／伊藤　　一議員（左）
副委員長／岡田　孝一議員（右）

質疑の主な内容

Q 不納欠損額増加の理由は。滞納者の人数は。

A 個人村民税が1件、法人村民税が1社、固定資産税については法人1社、個人2名です。地方税法15条の7第意1項及び5項（相続放棄、生活困窮）によるものです。

Q 公営住宅収入未済額の対策は。

A 担当課が確約を取るなど随時対応しています。

Q 津谷21号棟の現状は。

A 修繕は完了。手続き完了次第、入居募集します。

Q 新型コロナワクチン接種5回目の予定は。

A 戸沢学園児童生徒の新型コロナワクチン接種状況は。

A 早ければ10月の後半から接種可能と思います。197人が接種済みです。

Q 自殺対策緊急強化事業費の決算額がない理由は。

A 令和3年度から村保健師が直接地域に赴くなど対応しています。

Q 県有害鳥獣被害軽減モデル事業の取組と効果は。

A 角川地区で取り組みを行い、農家2件が対象となり電気柵の設置などを行いました。設置以降は被害の通報は寄せられていません。

Q 戸沢学園の防球ネット、中規模の地震で壊れるのは問題では。

A 自然災害の影響を予測するのは難しいと考えます。業者と確認のうえ、修繕の執行を行いたいと思います。

Q 草薙地区再開発事業の進捗状況は。

A 遺産分割協議書の作成の委託となります。2名分は令和4年度中に作成ができそうです。4名分は、来年度以降、調査予定です。

Q 高齢者福祉交通事業。高齢者送迎時のガソリン券があっても良いと思うが。

A 財政サイドと協議が必要です。

Q 県外で園児が車内に残される事故がありました。戸沢村での対策は。

A 送迎時、運転手・添乗員2名で確認しています。

Q 濁沢川、田沢川等の工事が進められます。議会にも情報提供いただきたい。

A 田沢川については現在、県単独で測量を行っていると聞いています。

令和３年度　一般会計・特別会計　決算（単位：千円）

区分		歳入			歳出		
		令和3年度決算額	令和2年度決算額	増減額	令和3年度決算額	令和2年度決算額	増減額
一般会計		5,345,296	5,498,985	−153,689	4,735,374	5,033,633	−298,259
特別会計	国民健康保険	13,454	16,485	−3,031	12,146	15,543	−3,397
	後期高齢者医療	61,151	58,616	2,535	60,364	57,258	3,106
	簡易水道事業	261,431	223,331	38,100	246,762	210,279	36,483
	公共下水道事業	93,831	92,533	1,298	91,167	89,738	1,429
	農業集落排水事業	145,240	141,700	3,540	141,078	137,410	3,668
	介護保険	779,652	744,874	34,778	738,276	723,687	14,589
合計（一般・特会）		6,700,055	6,776,524	−76,469	6,025,167	6,267,548	−242,381

※歳入歳出とも千円未満は、四捨五入

令和３年度　村税の決算額と収納率

区分		決算額（千円）	収納率（%）
村民税		138,594	97.2
固定資産税		191,800	92.7
軽自動車税		17,540	97.5
たばこ税		28,801	100.0
入湯税		3,193	100.0
旧法による税		94	26.1
合計		380,022	↗ 95.0
収納率	令和２年度		↙ 92.9
	令和元年度		↙ 94.1
	平成30年度		↙ 94.2
	平成29年度		↙ 94.4

※斜め矢印（記号）は、前年度から見た収納率の増減。

令和3年度 特別会計 決算審査

質疑の主な内容

国民健康保険

Q 収入未済額の見通しと、件数は。

A 98万円ほどの収入見通しです。3名は全て生活保護者です。地方税法に基づき対応することになると見込んでいます。

簡易水道

Q 99・5％の普及率で、残りの0・5％は杉沢地区など自然水を使っていると思います。料金と管理はどのようになっているのか。

A 利用料金はいただいていません。管理は地区ですが不測の事態に備え地元と協議し、村はかかわりを持つことが必要と考えます。

公共下水道事業

Q 汚泥処分量はどのくらいか。

A 古口浄化センターで脱水汚泥が37・2t、名高処理場で生汚泥が75・6㎥、神田処理場の乾燥汚泥が4・5t、本郷処理場の乾燥汚泥が7tです。

介護保険

Q 戸沢村での介護の課題があればお聞きしたい。

A 口腔ケア（飲み込み、咀嚼）のリスクが他町村より高くなっています。

Q 在宅介護のニーズが高まると思われます。予算確保をお願いしたい。

A 予算確保も含め対応します。

監査意見（抜粋）

令和3年度一般会計及び特別会計の決算状況は、各会計の総計で前年度と比較すると、歳入が76，469千円の減額、割合にして1・1％の減、歳出は242，382千円の減額、割合にして3・9％の減となりました。減額となった主な要因は、国庫補助事業の社会資本整備総合交付金による土木工事が予定していた事業費より減額したことが考えられます。加えて、新型コロナウイルス感染の影響により各種行事の中止、縮小が影響したものと考えられます。

戸沢村の財政構造は、村税、繰越金等の自主財源比率が28・6％で、そのうち村税の歳入に占める割合は7・1％でした。それ以外は地方交付税等の依存財源に頼らざるを得ない状況であります。起債に留意し、経常経費の一層の抑制に努め、財政基盤の強化を図ることが求められます。

予算編成・予算執行

予算編成や補正措置に当たっては予算の積算内容を綿密に精査し、補正措置が可能なものは早期に補正をして、計画的で適切な予算措置と効率的な執行を要望します。

予算執行にあたっては、各施策の必要性、有効性、経済性を見極めて今後とも限られた財源を最大限に活用し、村民の満足度を高める行政サービスを提供されるよう期待します。

収入確保

年々厳しさを増す財政事情の下で、村税、使用料、負担金の収入未済額が増加傾向にあり滞納額が肥大化している中にあっては、自主財源の根幹をなす村税等の収入確保が最優先課題であります。収入未済額の圧縮と不納欠損処分額の減少に努める必要があります。また、ふるさと納税寄付金事業は自主財源確保の重要な手段であり、限りなき可能性を持つものです。

より一層創意工夫を凝らしながら、積極的な事業展開を図って、益々の増額を目指していただきたいと思います。

村政を問い正す！

5名の議員が一般質問

※一般質問とは、議員個人が村の事務執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を村長に求め、村が村民のために適切な村政運営を進めているかをチェックするものです。

Ⅰ 加藤　政一議員……7p

- ●　定年退職年齢引き上げに伴う人事政策は
- ●　空き家・危険家屋対策は

Ⅱ 柿﨑　英矢議員……8p

- ▲　最上地区広域連合の今後の方向性は

Ⅲ 阿部　光樹議員……9p

- ■　これまでの一般質問答弁後の現状・改善状況は

Ⅳ 岡田　孝一議員……10p

- ★　村の農地整備計画は

Ⅴ 伊藤　　一議員……11p

- ▼　避難行動要支援者の支援体制は
- ▼　村整備住宅の入居状況、管理状況は
- ▼　除雪車運転手の公募と応募の状況は
- ▼　次期村長選挙の考えは

一般質問

加藤政一　議員

定年退職年齢引き上げに伴う人事政策は

定年退職年齢引上げ段階図

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度
			定年退職者なし		定年退職者なし		定年退職者なし		定年退職者なし		定年退職者なし		
S36.4.2～S37.4.1生まれ	定年 60歳	61歳	62歳	再任用 63歳	64歳	65歳							
S37.4.2～S38.4.1生まれ	59歳	定年 60歳	61歳	62歳	再任用 63歳	64歳	65歳						
S38.4.2～S39.4.1生まれ	58歳	59歳	60歳	定年延長 61歳	定年 62歳	再任用 63歳	64歳	65歳					
S39.4.2～S40.4.1生まれ	57歳	58歳	59歳	60歳	定年延長 61歳	定年延長 定年 62歳	再任用 63歳	64歳	65歳				
S40.4.2～S41.4.1生まれ	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	定年延長 62歳	定年 63歳	再任用 64歳	65歳			
S41.4.2～S42.4.1生まれ	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	定年延長 62歳	63歳	定年 64歳	再任用 65歳		
S42.4.2～S43.4.1生まれ	54歳	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	定年延長 62歳	63歳	64歳	定年 65歳	
S43.4.2～S44.4.1生まれ	53歳	54歳	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	定年延長 62歳	63歳	64歳	定年 65歳

問　令和5年度から、村職員の定年退職年齢が65歳まで、段階的に引上げられます。それに伴う人事政策の考えは。

村長　定年退職年齢が2年に1歳ずつ段階的に引上げられ、令和14年度に65歳定年退職となります。

職員の意向により、60歳を超える職員は、定年まで働く人、定年前に退職する人、暫定再任用で働く人と多様な選択が可能となります。当面、職員採用は定数管理を考えながら翌年度の採用計画を立てていくことになります。

危険家屋の対策は

問　危険空き家の判定を誰が何を根拠に行うのか。

村長　「外観目視による住宅の不良度判定の手引き」（国交省住宅局発行）により、職員が目視で判定します。

整備中の「空き家データベース」においても、同様の基準で委託業者が判定。また、「危険空き家解体事業費補助金」制度もこの基準で担当職員3名が現地で判定しています。

問　所有者、管理人が特定できない危険家屋に行政のかかわりは。

村長　建材などの飛散防止のネットの貸し出しは、所有者等が不明の場合でも、貸し出しは可能ですが関係者の了承が必要です。

建設水道課長　危険家屋と認定され、所有者、管理者が不明の場合、空き家対策推進特別措置法に基づいて、手続き、手順を踏んで行政代執行等も可能です。

問　終活として、住居等の解体費用に上限を設定したうえで補助できないのか。

村長　単なる解体の場合は、所有者が行うもので、補助事業により更地にした土地の処分（売却・譲渡）は、「補助金等に係る予算の適正化規則」第22条（財産処分の制限）に抵触する等の課題もあります。

問　村として相談窓口になる等の支援対策はないのか。

村長　今後、村のかかわり方を色々精査し、時間をかけ検討していきます。

放置状態の空き家

一般質問

柿﨑英矢　議員

国民健康保険、最上地区広域連合の継続か解散か

問　最上広域市町村圏事務組合事務所移転に伴い、単独で継続維持するのは困難であることから、今後の村の取り組み内容や方向性を伺います。まず※インセンティブが考えられる村の取り組みは。

※ここでいうインセンティブとは業務の実績成果に対し反映される助成等のことです。

健康福祉課長　事業は全部で９つで、人間ドックや予防、健康づくりを推進するための取組などがあります。

問　決算の概要証明書を見ても特定保険者指導の動機付け支援で実施率０％から15％、積極的支援に関しては０％から60％台と構成町村間でも大きく差が広がっている状況です。

広域連合を解散して、単独で行った方が村民加入者の保険料（税）の負担が少なくなると考えられるのでは。

健康福祉課長　広域連合で、取り組むのが良いのか、独自で取り組むのが良いのか予算確保につながるといった枠組や形というのは、交付金に直接結びついていません。

問　今後の方向性についての村長の考えは。

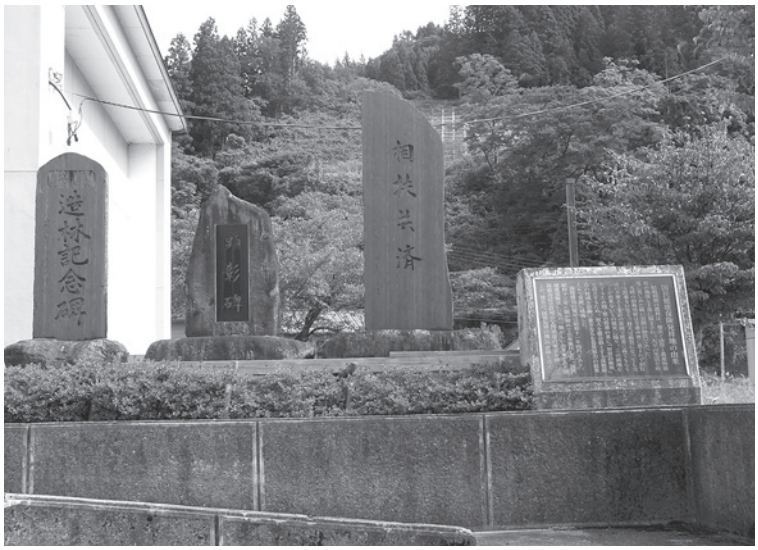
村長　広域４町村の取組であり、戸沢村独自の考えを答弁できませんが、事務所移転により４町村で考える課題と考えています。

問　今まで自分の考えを広域議会で発言してきましたが、村長、課長、議員の皆さんの意見をまとめて今後の発言にしますので、はっきり、継続か、解散か村長の考えを示してください。

村長　令和６年度からの山形県統一保険料（税）率の適用時に合わせて、いずれは解散の方向性と考えています。

問　２年程前からの村の定例会で不納欠損処分の町村格差の不平等と、広域連合結成の意義と今後の組織のあり方について村長は問われてきましたが、収納委員会で村長は戸沢村の考えを伝えてきたのか。

村長　収納委員会で戸沢村の考えは伝えています。



旧角川村、国民健康保険発祥地とされています

議員当初から現在までの一般質問について

問　旧古口小学校跡地とグラウンド活用の問いに、定住対策を含めた集合住宅の計画を検討していくと答弁がありましたが、現況は。

村長　未来創造プロジェクト会議を発足「子育て応援住宅」を建設しました。

今年度は、駐車場を含めた公園整備を予定し、来年度は、宅地造成や道路改良をしていきます。

各種会議等に参加している地域おこし協力隊

問　地域おこし協力隊・集落支援員の募集状況と、任期後の対応の問いに、集落支援員の募集予定はないと答弁がありました。現在の地域おこし協力隊に対し、任期後も戸沢村に定住し活躍していただけるような対策は考えているのか。

村長　現在、募集は行っていません。

村として、定住して活躍していただけるよう支援をしていきたいと思います。

問　戸沢村持家住宅整備促進事業補助金に対し、村の魅力の一つで、村民が利用しやすくできないかなど問いました。

県の住宅リフォーム総合支援事業補助金の補正を要望しているのか、各市町村の利用状況に応じ予算増額は要望できないか。

村長　県リフォーム補助については、全ての申請者に交付すべく要望はしています。しかし、予算範囲内の執行となるため、追加配分は難しい状況となります。

問　空き家バンクについて現在はできたようですが、答弁では、他市町村を参考にして慎重に推進していくとありました。

どの事業でも他をみてから実施は遅いと思います。

空き家バンクの利活用に対しての反応や、移住・定住に対しての手厚い支援をどのように考えているのか。

村長　現在の登録物件は2件で、問い合わせや相談もあります。

支援としては県リフォーム補助金や村の持家住宅補助金のかさ上げをしています。

問　村のサービス事業についての問いに、費用がかかりすぎるので、役場以外での諸証明の発行は難しいと答弁がありました。

マイナンバーカードの所持率についても私が説明しましたが、現在の考えは。

村長　村も各施策を展開しているところで、県より財政支援があり、令和5年4月からコンビニでの住民票等の交付ができるよう、準備を進めています。

マイナンバーカード

一般質問

阿部光樹　議員

一般質問

岡田孝一　議員

村の農地整備計画は

問　６月定例会に続き、村の均衡ある発展という視点と共に荒廃農地対策・後継者問題、さらには古口地区の高規格道路買収からも早急に農地基本整備計画が必要と思います。

今後、村内未整備農地の整備計画をどう捉えているか。

村長　古口・角川地区のほ場整備事業は、村の重要課題の一つと認識しています。

村全体の整備計画に関しては、各地区の経営状況や後継者等を検討し管理計画を策定しています。

農業関係の整備事業は、農家の費用負担が伴い農家の皆さんの意欲が重要になってきます。

荒廃農地対策や後継者・担い手育成の課題を含め、特に古口地区は高規格道路の路線が示されたこともあり説明会を開催しています。今後も協議を進めていきます。

問　事業の採択申請には、地元関係者の同意や図面等が必要で多額の経費を要しますが、県単独事業による４割補助です。

村における未整備地区全体を村が主体的に計画を立案すべきと考えますが、村長の決断ある回答を求めます。

村長　未整備地区の計画策定は、確かに県単の４割補助の事業となり農家負担が大きいと感じています。

ただし、村が主体的に計画することは、農家負担がある事業を進めることから、地域の同意や農家の意欲、熱意によって計画を策定すべきと考えています。

また、計画策定に対する村の負担は財政事情を考慮し、事案ごとに検討させていただきます。

問　近年の農業事情等を鑑みれば、地権者の高齢化が進み農地を委託している農家が多数です。まして過去の農地売買価格と比べ、現在は５分の１程度で整備は必要と思いつつも投資意欲は減退の極みと思います。

村においての未整備地は多くはないと思うので採択までの計画は村が計画すべきと考えます。村長の決断を求めます。

村長　地元から、様々な整備に関する要望を受けています。今後、前向きに検討します。

高規格道路ルート予定の未整備ほ場

一般質問

伊藤　一　議員

高齢者・自宅療養者の避難支援体制は整備されているのか

問 防災対策、災害発生時等の高齢者・自宅療養者の避難支援体制は。

令和元年度防災訓練の様子

村長 自力避難困難な要支援者は親せきや知人など普段交流のある方に避難時、関りを持っていただき、行政では民生委員等を通じ所在や状況の把握に努めてきました。改正災害対策基本法により、避難困難な高齢者や障害者の個別避難計画の策定が自治体の努力義務となりました。計画作成の対象は要支援者名簿登録者で、内容開示に同意している人です。民生委員や地区会へ説明し、名簿と計画書を作成しました。今後は個別計画で特定された援護者が要支援者の避難時に関りを持つため、これまでより速やかに避難できることが期待できます。

村整備住宅の入居状況、管理状況等は

問 村営住宅、子育て応援住宅の入居状況はどうなのか、年数が経過した住宅のメンテナンスについての考えは。

村長 全体の入居率は80％で、全73戸のうち59戸が入居しています。

基本的に修繕は入居者が退去する際に行い、村へ返却し、入居中の責めによるものや日常の軽微な修繕も入居者が行うことになっています。棟ごとに状況に違いはありますが村として修繕しながら維持管理していく方針です。

子育て応援住宅の入居状況は15戸中7戸で、新聞等で募集を行っています。できるだけ早く全戸に入居いただくよう取り組みます。

子育て応援住宅

除雪車運転手の公募要件、応募状況等は

問 除雪車運転手の公募、勤務時間は。

村長 応募がなく再度、募集を行っています。任用期間は70歳までです。除雪作業を通勤通学の時間帯の7時前後まで完了させるため午前0時に出勤、作業し早出の場合11時45分が終業で、午前の降雪状況によっては2回目の除雪にも対応しています。

除雪作業

次期村長選挙への考えは

問 村長の今後の村政に対する考えは。

村長 次期村長選挙には出馬せず5期20年を区切りとしました。村民、議員各位に感謝申し上げます。残りの任期をしっかりと務めさせていただきます。

議会広報常任委員会報告

定例議会終了後、議会だより発行に向け常任委員会を開催しています。議会広報を、村民皆様に「読み伝わる広報」を基本に紙面づくりを行っています。

編集技術の向上にむけ、県町村議長会主催の研修会（７月14日開催）と全国町村議長会主催の研修会（９月20日開催）に常任委員全員で参加してきました。全国研修は、新型コロナ感染症拡大により、３年ぶりの開催です。

両研修とも、住民に情報を伝えるためには、読者目線で読みやすく、紙面に住民が参加している紙面づくりに向けての研修でした。

皆様に、読んで頂き、伝わる議会広報の紙面づくりに努力していきます。読者皆様のご意見をお待ちしています。また、取材の際はご協力お願いします。

議会広報常任委員会
委員長　加藤　政一

第39回 山形県町村議会広報研修会

令和４年度 全国町村議会広報研修会

戸沢村議会・戸沢村合同研修会
～東北農林専門職大学（仮称）の目指すもの～

東北農林専門職大学　10のポイント

①生産管理、経営管理の両方が学べます
②発酵、醸造、建築等幅広い分野が学べます
③学内外での豊富な実習
④充実した教員体制
⑤1学年40人少人数教育
⑥国際化にも対応（ビジネス英語等々）
⑦オール山形で応援
⑧東北全体が学びのキャンパス
⑨地域との交流
⑩新しく充実した学習環境

９月13日、山形県農林水産部、神山修専門職大学整備推進監をお招きし、東北農林専門職大学（仮称）の目指すものをテーマにご講演いただきました。以下、講演内容の抜粋です。

国内における農作物の市場規模は縮小傾向にあるが、世界のマーケットは拡大傾向にあります。農業従事者の高齢化が進み、青年層の就業が喫緊の課題となっています。令和元年度から全国１８２地区でスマート農業の推進が図られ農業産業の成長が進められています。

このような情勢下、新たな経営戦略の構築、実践、検証のうえ、更なる展開へとつなげ、国際的にも比肩することができる農林業経営者の育成が必要となるために、「東北農林専門職大学（仮称）」の設置が現在進められています。

就農、森林業就業１００％を目指す東日本初の４年制大学です。学部は農林業経営学部（仮称）１学部、学科は農業経営学科、森林業経営学科（仮称）の２学科です。学内実施のほかに実地体験実習等々豊富な実習も行います。日本を牽引する農林業経営者が輩出されることが期待されます。

入学定員は40名、収容定員は１６８名です。開学は令和６年４月予定。

議会日誌（7月～9月）

7月

1日　令和４年度国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進期成同盟会役員会・総会
3日　令和４年度戸沢村消防操法大会
4日　山形県町村議会議長会正副会長、理事合同会議
5日　舟形大蔵戸沢間道路整備促進期成同盟会監査
最上広域市町村圏事務組合現場監査
6日　福島県金山町議会行政視察
7日　最上広域市町村圏事務組合現場監査
川の駅くさなぎグランピング施設地鎮祭
13～15日　最上市町村議会視察研修
14日　第39回町村議会広報研修会
15日　鮭川村議会行政視察
19日　舟形大蔵戸沢間道路整備促進期成同盟会総会
21日　例月出納検査
22日　東北農林専門職大学（仮称）
校舎新築工事安全祈願祭
25日　令和４年度知事と町村議会議長との意見交換会
26～27日　最上広域市町村圏事務組合書類監査
27～28日　令和３年度戸沢村各種会計決算審査
28日　最上県政懇話会例会

8月

8日　山形県町村監査委員協議会臨時総会
山形県町村監査委員研修会
10日　議員全員協議会
15日　令和４年度戸沢村20歳の集い
22日　最上広域市町村圏事務組合例月出納検査
23日　山形県金山町議会行政視察
24日　例月出納検査
25日　議会運営委員会
31日　令和４年度戸沢村戦没者追悼式

9月

2日　議員全員協議会
新庄最上地域で考える
これからの「地方創生」シンポジウム
5日　最上広域市町村圏事務組合決算審査
7日～13日　９月定例会・決算特別委員会
13日　議会広報常任委員会
戸沢村議会・戸沢村合同研修会
14日　「TOZAWAツーリズム協議会」下刈り活動
20日～21日　令和４年度町村議会広報研修会
24日　令和４年度戸沢保育園運動会
26日　議会広報常任委員会
戸沢村観光物産協会理事会
27日　例月出納検査
最上県政懇話会例会
29日　第10回戸沢村老人クラブ連合会
グラウンドゴルフ大会
第11回戸沢村・庄内町地域連携フォーラム
30日　秋の交通安全県民運動

「TOZAWAツーリズム協議会」下刈り活動

TOZAWAツーリズム協議会は、最上川・最上峡の維持管理、整備、保全を目的に平成30年５月に結成された団体です。

９月14日、協議会の構成会員の古口自治会・古口乙夜塾・最上峡芭蕉ライン観光（株）の皆さん、戸沢村、戸沢村議会が参加しました。

残暑が厳しい中、繁茂している笹竹等を持参した草刈り機械で刈り取りました。

作業後は見通しが良くなり、かつて植樹した桜に日差しが届くようになりました。

2022.9月定例会 No.145
令和4年10月31日発行
発行 戸沢村議会／責任者 加藤 文明
〒999-6401 山形県最上郡戸沢村古口270
編集 議会広報常任委員会
TEL 0233-72-2113／FAX 0233-72-3381
印刷 新光印刷株式会社

合格祈願

10月10日(大安)に戸沢学園9年生が羽黒山・出羽三山神社でそれぞれの道に進むため、祈願祭を行いました。当日は雨降りでしたが、集合写真撮影時は、9年生パワーで雨があがりました。

議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

12月7日㈬～9日㈮

本議会は、インターネットでもご覧いただけます。詳しくは議会事務局☎72-2113にお問い合せください。

表紙の言葉

実りの秋を迎え、戸沢学園5年生による稲刈りが10月6日に行われました。

地域の先生の指導を受け刈った稲の束ね方や、今では目にする事が出来ない杭掛けを体験され、田植えから収穫までを学ばれました。

指導して下さった地域の方、田んぼを貸して下さった方や、豊な自然と大地に感謝し、食の大切さを忘れないで下さい。

編集後記

実りの秋、水田ではコンバインが大きくエンジン音を立てて、刈り取り作業をしています。今回の145号が皆さんのお手元に届く頃には、刈り取りが終わり、おいしいお米になっていることでしょう。村では10月8日の村民フォーラム、11月6日の旬の市、そば祭りなど、イベントが開催されます。村の文化やおいしさに触れ、村の魅力を再発見してみてはいかがでしょうか。これからも、親しまれる議会だよりを目指してまいりますので、ぜひご覧ください。

議会広報常任委員会委員　柿﨑　英矢